

# 令和6年度 市貝町立赤羽小学校 学校評価書

## 1 教育目標

- (1) 考える子 (2) たくましい子 (3) 思いやりのある子

## 2 学校経営の方針

- (1) よく考えて判断できる児童の育成 (2) 健康で体力のある児童の育成  
 (3) 思いやりのある児童の育成 (4) 地域に根ざした特色ある学校づくりの推進

## 3 今年度の努力点と具体策

努力点	具体策
(1) 確かな学力を育むための学習指導の充実に努める。 ア カリキュラムマネジメントによる教育活動の質の向上 イ 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善 ウ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得のための指導の工夫・改善 エ 個々のニーズに応えるユニバーサルデザインによる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価、児童・保護者アンケートの実施と結果の活用</li> <li>学習状況調査等の実施と結果の活用</li> <li>学び合いを大切にする学級づくりの工夫 (学業指導の充実、学びの8か条)</li> <li>情報活用能力や自己表現力を高めるICT教育の推進・持続可能な社会の作り手を育成する協働的な学び</li> <li>教科担任制の一部導入による専門的な指導の充実</li> <li>学校と家庭が連携して支える家庭学習の習慣化</li> <li>TT、少人数指導等による指導の個別化の推進</li> <li>チャレンジタイムの活用による基礎基本の定着</li> <li>わくわくタイムと読み聞かせ等による読書の習慣化</li> <li>誰もがわかりやすいように工夫、配慮した授業実践</li> <li>児童自ら学習課題に取り組む学習の個性化への支援</li> </ul>
(2) 強い気力と体力を育むための健康・安全教育の充実に努める。 ア バランスのよい体力の向上を目指す体力つくりの工夫・改善 イ 心身の健康の保持増進を図る健康教育の充実 ウ 安全能力の育成を図る安全教育の推進 エ 望ましい食習慣の育成を図る食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科体育における運動量の確保（新体力テスト結果の活用）</li> <li>業間「体力つくり」の工夫と「のびのびタイム」での外遊びの推奨</li> <li>運動への意識を高めるチャレンジカードの活用</li> <li>感染症対策、衛生管理の徹底</li> <li>性に関する指導、喫煙・薬物乱用防止教育の実施</li> <li>交通安全指導の徹底（登校班別指導、下校時の青パト巡回指導等）</li> <li>火災、地震、竜巻、不審者対応等の避難訓練、引き渡し訓練の実施</li> <li>栄養教諭、栄養士による食に関する指導の実施</li> <li>給食準備、後片付けのルールの徹底と感謝の心の育成</li> </ul>
(3) 豊かな人間性を育むための心の教育の充実に努める。 ア 子どもの心に響く道徳教育・人権教育の推進 イ 子どもを理解する児童指導と教育相談の充実 ウ すべての子どもを尊重するインクルーシブ教育の推進 エ 子どもたちを支え合い高め合う集団に導く特別活動の工夫・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>「考え方議論する」特別の教科道徳の実践</li> <li>児童及び教職員の人権感覚の高揚のための取組</li> <li>「よい子の一日」の活用による基本的な生活習慣の習得</li> <li>ハート支援委員会の迅速な開催</li> <li>スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携強化</li> <li>教育相談の充実とQ-Uテストの実施及び結果の活用</li> <li>いじめ及び不登校対策の徹底とアンケートの実施及び結果の活用</li> <li>個別の教育支援計画、指導計画の作成と活用</li> <li>情報交換による多様な教育的ニーズのある児童の理解</li> <li>多様な意見を認め合いながら合意形成ができる話し合い活動の実践</li> <li>縦割り班による自発的自発的な活動の推進</li> </ul>
(4) 地域と連携し、その教育力を生かした特色ある学校づくりに努める。 ア 社会に開かれた教育課程の実現 イ 家庭・地域・関係機関等との連携・協働体制の確立 ウ 信頼関係を構築する情報の収集・発信の充実 エ ふるさと学習の工夫・改善とキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会の設置とその活用</li> <li>地域コーディネーターとの連携と情報交流会の実施</li> <li>学校支援ボランティアの積極的活用と拡充</li> <li>自由参観日の実施による地域への学校公開</li> <li>学校だより、学年だより等の定期的発行</li> <li>ホームページによる情報提供の充実</li> <li>地域素材や地域人材を活用した教育活動の推進</li> <li>なりたい自分に向けて努力するキャリア教育の実践</li> </ul>

## 4 評価表

※評価のA-当てはまる B-どちらかといえば当てはまる C-どちらかといえば当てはまらない D-当てはまらない (数字は%)

項目	評価指標	主な評価内容	自己評価			
			評価	達成状況 ○	改善策 ◇	
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>確かな学力を身に付けさせるために系統的な編成になっている。</li> <li>教育課程の適切な実施の下に、学校は明るい雰囲気で、児童は生き生きと生活している。</li> </ul>	①教育課程の実施に必要な教科等ごとの年間指導計画、評価計画や週案等が適切に作成されているか。	A 90 B 10 C 0 D 0	○年間指導計画の自校化を進めることでより充実させていきたい。		
		②授業時数は適切に配当され必要時数が確保されているか。	A 95 B 5 C 0 D 0	◇2年生の木曜日6校時授業がなくても、実施時数は確保されているため、なくてもよい。2年生の発達の段階からすると6校時授業は、集中力が持続しない。 ※適正な時数の確保に努める。		
		③日課表や週時程表の設定は適切であったか。	A 57 B 38 C 5 D 0	○前年度の反省を踏まえ、機械的に減らすのではなく計画的に5時間授業や6時間授業の実施を行っているのがよい。 ◇朝の学習の効果等を検証し、どんなことを必要としているのか検討したい。 ◇清掃時間のもち方、週2回になった清掃時間内でどうやって美化環境を確保し、勤労精神を育てていくか検討したい。		
		④特別活動においては、児童の自発的自治的な活動になるよう努めたか。	A 53 B 42 C 5 D 0	◇特別活動（児童会、行事、クラブ活動、学活）のどの場面で、教職員が、自発的な活動をどうしかけていくかが大切である。 ○代表委員会では、児童からの意見を吸い上げ、自発的な活動になるようにした。うまくいかないときも代表委員を集め、改善にあたった。 ○運動会では、よりよい運動会にするにはどうしたらよいか子どもたちに考えさせ、自ら動けるように促した。		
		⑤豊かな体験活動の場の設定などを行い、ふるさと学習の推進を図ったか。	A 20 B 80 C 0 D 0	◇ふるさと学習を進めるにあたっての人材などは、十分に確保され、実施できている。指導する側が、ふるさと学習の視点をしっかりとって児童にもねらいを伝えていきたい。		
児童・保護者アンケート	児童・保護者アンケート	児童	B	保護者	A	児：学校に来るのが楽しいですか。 保：お子様は、学校生活を楽しんでいますか。
						(A47 B39.1 C12.6 D1.3) (A61.4 B35.1 C3.5 D0)
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元や題材など内容や時間のまとめを見通しながら、児童の主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行っている。</li> <li>基礎的、基本的な知識・技能の確実な習得のための指導の工夫・改善に取り組んでいる。</li> </ul>	①学業指導の充実を図り、学びに向かう学級づくりを行えたか。	A 40 B 50 C 5 D 5	◇意識して学業指導を行っているが、身に付かない児童もいる。根気強く指導していくこと、別な手立てを模索することなど努力していきたい。		
		②すべての児童がわかるように工夫、配慮した授業を実践できたか。	A 30 B 70 C 0 D 0	◇多様な児童がいる中で、「すべての児童がわかる」方法は1つではない。教師がいろいろな方法を提示したりたり、子どもたちが自身の歩みで学習方法を選択できる場をつくったり、みんなで実践を積み重ねていきたい。 ○児童の「わからない」というつぶやきから授業を展開した。 ◇先生方との情報交換をしたり児童理解を深めながら、「わかる授業の工夫」をしていきたい、		
		③TT、少人数指導、ICTの活用など、個別最適な学びに応じた適切な支援が行えたか。	A 58 B 37 C 5 D 0	◇TT体制をベースとして個別指導にあたるだけでなく、児童同士で教え合う学び合いの体制も構築させたい。 ◇町ICT支援委員の活用を積極的に図る。特に、授業どう生かすかを町と学校で検討してきたい。 ○必要に応じて、習熟度別学習を行うことができた。		

		<p>④特別の教科道徳の指導においては、「考え議論する」授業となるよう努めたか。</p>	A 47 B 40 C 13 D 0	○子どもたちが考えたくなるような発問や問い合わせを意識して行った。また、必要に応じて心情ツールなども活用し、活発な意見が交わされるように工夫した。 ○現職教育での研究授業が研修の機会となった。 ○◇道徳の授業で様々な意見が出るようになってきた。その意見を上手に取り上げ、話合いになるようにコーディネイトしていきたい。
				○「わかりましたか？」と問わない教師を実践し、「わからない」と言える雰囲気や児童同士で教え合う学級風土づくりに努めたか。
児童・保護者 アンケート	児童 A 保護者 B	児：先生は、授業などで分かりやすく教えてくれますか。 (A67.5 B27.8 C12.6 D1.3) 児：宿題や予習、復習をよくやりますか。 (A41.9 B32.3 C19.2 D6.6) 保：学校は、子どもたちに学力が付くように工夫して指導していますか。 (A51.8 B44.7 C3.5 D0) 保：お子さんは、家庭学習に意欲的に取り組んでいますか。 (A16.7 B43.9 C32.5 D7)		
キャリア教育	・教職員は、児童が将来の生活によりよく適応し、進歩する能力を伸長できるよう努めている。	①学校の教職員全体としてキャリア教育計画を理解するとともに、自分の役割を果たし、夢や目標の実現に向けてがんばる子を育成したか。	A 40 B 55 C 5 D 0	◇キャリア教育に関する研修を全体で行い、「一人一人のキャリアの形成と自己実現」に関わる指導をしつかりできるようにしていく。 ◇特別活動がキャリア教育の要であることを踏まえ、学び方や生きを方見通しながら、教育活動を将来や社会づくりにつなげていくようにする。
児童・保護者 アンケート	児童 A 保護者 B	児：将来の夢や希望、目標をもっていますか。(A55.1 B28.7 C11.4 D4.8) 保：お子様は、将来何になりたいか、夢や希望、目標をもっていますか。(A22.8 B53.5 C18.3 D5.3)		
児童指導	・教職員は、児童が希望や目標をもって生活し好ましい人間関係を醸成し、基本的なモラルや生活習慣を身に付けられるよう指導の充実に努めている。	①「よい子の一日」を基に、規範意識や基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を適切に行っているか。(あいさつ・履き物そろえ等)	A 57 B 43 C 0 D 0	○◇全校体制で取り組めるようになってきている。ただし学級間の差(意識の差)を埋めていく。 ○赤羽スタンダードの基、粘り強く指導している。 ◇児童への根気強い指導と認めていく声掛けは継続していきたい。 ◇ルールを守らない友達に対して、適切に指導できる児童も育てていきたい。
		②共通理解に基づいて、児童指導や問題行動等への対応に、適切に当たっているか。	A 95 B 5 C 0 D 0	○児童指導に関する情報交換が確実に行われ、指導に当たっている。 ○学校全体で対応できている。
		③教育相談を定期的に行い、児童理解に努めているか。	A100 B 0 C 0 D 0	○教育相談月間以外にも児童が悩みや不安を抱えているときは相談に乗るように、対応してきた。 ○普段からよく話をし、児童の気持ちに寄り添えるように努めてきた。
		④児童の指導の記録を継続的に行い、適切な児童指導を行っているか。	A 61 B 35 C 4 D 0	○◇担任だけでなくいろいろな先生方がスズキ校務に入力してくれるのがありがたい。問題行動だけでなく、よいところも共有したい。 ○日々の様子を記録するように心掛けている。
		⑤児童の情報が、職員間で適切に交換されているか。	A 96 B 4 C 0 D 0	○児童の情報を早めに報告したり、相談したりできているので、早期に対応できている。
		⑥児童の問題等に応じて、ハート支援委員会が適切に実施されたか。	A100 B 0 C 0 D 0	○ハート支援委員会をで対応を検討し、その後それぞれの児童よい方向に向かっている。 ○どの事案も早期にハート支援委員会が開かれ、チームで対応できていた。先生方が協力的に支援にあたっているのを感じる。

	児童・保護者 アンケート	児童	A	保護者	B	児：場所や様子に応じたあいさつや返事をしていますか。 (A54. 1 B36. 5 C4. 1 D5. 3) 児：先生は、あなたの悩みの相談にのったり、お話を聞いたりしてくれますか。 (A69. 4 B24. 7 C3. 5 D2. 4) 保：お子様は、場に応じたあいさつや返事をしていますか。 (A34. 2 B50. 9 C14 D0. 9) 保：先生は、お子様の話を聞き、頑張ったことを認めてくれますか。 (A60. 5 B38. 6 C0. 9 D0)
人 權 教 育	・教職員は、一人一人を大切にし、児童が互いのよさを認め合い、人権を尊重し合う望ましい人間関係を育成している。	①人権意識の高揚を図るため、人権教育の教育計画への適切な位置付けを行っているか。			A 82 B 18 C 0 D 0	○◇人権意識の高まる人権週間が実施できていた。日々の実践も大切にしていきたい。 ◇日々の基底的指導を大切にしていきたい。 ○人権週間の集会・活動・職員研修は児童にも職員にも人権について考えるよい機会であった。
		②「すべての子どもを尊重するインクルーシブ教育」をいつも意識して、教育活動を進めているか。			A 82 B 18 C 0 D 0	○目立つ児童だけではなく、目立たない児童にも目を配り、声を掛け、関わるようになっている。 ○全ての児童を大切にして教育活動を行うように意識してきた。児童にも伝わってきてている。
		③教職員自らの人権感覚を磨ぐための研修を積極的に行っているか。			A 70 B 30 C 0 D 0	○現職教育で研修を行うことができてよかったです。
		児童・保護者 アンケート	児童	A	保護者	児：あなたは、まわりの人に親切にしていますか。 (A53. 4 B39. 1 C4. 7 D3) 保：お子様は、思いやりの心をもち、まわりの人に親切にしていますか。 (A44. 7 B50. 9 C4. 4 D0)
特 別 支 援 教 育	・教職員は、一人一人に適切な教育的支援を行っている。	①学担と特別支援コーディネーターは密接に連携しながら特別に支援を要する児童の指導にあたれているか。			A 90 B 10 C 0 D 0	○常に情報の共有は行われている。 ○個別の教育支援計画作成時に、助言いただきありがたかった。
		②個別の指導計画を適切に作成し、一人一人の支援に役立てているか。			A 65 B 35 C 0	○◇各学年、適正に作成されている。学期の途中で見直しをするなど、どう活用していくかが重要である。また、支援員の職員も関わりがある児童については予め見せてもらっておくべきである。
		③必要に応じて医療、福祉など、関係機関等との連携を適切に図っているか。			A 58 B 37 C 5 D 0	○SCやSSW、心の相談員の支援体制があり連携を図りながら支援にあたってきた。
育	児童・保護者 アンケート	児童	A	保護者	A	児：先生は、あなたの悩みや相談にのったり、お話を聞いてくれたりしてくれますか。 (A69. 4 B24. 7 C3. 5 D2. 4) 保：先生は一人一人のお子様の話を聞き、頑張ったことを認めていますか。 (A60. 5 B38. 6 C0. 9 D0)
健 康 体 力	・児童及び教職員の健康の保持増進に努めている。	①日常の健康観察や、疾病予防、児童の健康管理能力向上のための取組等を適切に実施しているか。			A 86 B 14 C 0 D 0	○健康観察、児童の体調の変化等への対応などしっかりとできている。
		②児童を対象とする保健（薬物乱用防止、心のケア等を含む）に関する指導体制がしっかりと確立されているか。			A 83 B 17 C 0 D 0	○養護教諭の計画の基進められている。
		③教科体育・体力つくり・体育的行事等をとおし、児童の体力の向上に努めているか。 (チャレンジカードの活用)			A 88 B 12 C 0 D 0	○◇持久走大会の練習や全校鬼ごっこなど緩急をつけた計画がよかったです。前年度の新体力テストの結果を分析し、補強を必要とするところは、体育の準備体操に組み込むなど年間を通じて体力つくりができるメニューがあるとよい。(教科経営計画に反映させるなど) ○持久走の練習がんばりカードなどは、児童が意欲を持って取り組める内容になっていた。児童のやる気向上につながる取組がよかったです。

安全指導	児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	児：あなたは体育の授業や業間の体力つくりに一生懸命取り組んでいますか。 児：あなたは好き嫌いしないで食べたり、病気やけがに注意したりして、健康に気を付けて生活していますか。 保：学校は、健康についての指導をよくしていると思いますか。 (病気予防、衛生指導、給食指導、体力つくりなど) (A54.4 B43.9 C0.9 D0.9)
	・学校は、安全・安心な環境の確保に努めている。	①危機管理マニュアル等の確認や安全点検などを適切に行い、安全・安心な環境の保持増進に努めているか。	A 77 B 23 C 0 D 0	○安全点検をしっかりと実施することで、児童のけがの未然防止につながっていると感じている。		
組織運営	児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	B	②防犯・交通安全教室や自然災害に関する訓練を適切に実施し、教職員及び児童の安全対応能力の向上に努めているか。
	・教職員は、一致協力して組織的、機動的な運営に努めている。	A 91 B 9 C 0 D 0	◇訓練ができたことでおわることなく、自分の身は自分で守るという意識を高めていきたい。			
研修（資質向上の取組）	児童・保護者アンケート	児童	/	保護者	/	児：交通安全や学校内での安全に心がけていますか。 (A64.1 B32.9 C1.8 D1.2) 保：学校は、交通安全や不審者、火災、地震、竜巻対策などの安全指導に努めていると思いますか。 (A58.8 B38.6 C2.6 D0)
	・教職員は、定期的に研修会を開きよりよい授業を目指して学び合っている。	①校務分掌や各主任の役割が適切に機能しているか。	A 73 B 23 C 0 D 0	○それぞれの分掌にとらわれず、全員協力体制で進められる雰囲気があるのがよい。		
	児童・保護者アンケート	児童	/	保護者	/	②報告・連絡・相談が密に行われ、組織が円滑に運営されているか。
	・教職員は、定期的に研修会を開きよりよい授業を目指して学び合っている。	A 91 B 9 C 0 D 0	○円滑な処理を心掛けた。			
	児童・保護者アンケート	児童	/	保護者	/	③個人情報等学校が保有する情報を適切に管理しているか。
	・教職員は、定期的に研修会を開きよりよい授業を目指して学び合っている。	A 80 B 20 C 0 D 0	○文書は、迅速に、また正確に処理されているか。			
	児童・保護者アンケート	児童	/	保護者	/	④諸費用の支出伺い・帳簿・決算報告書を正確に処理し、支払いを速やかに行っているか。
	・教職員は、定期的に研修会を開きよりよい授業を目指して学び合っている。	A 87 B 13 C 0 D 0	○文書は、迅速に、また正確に処理されているか。			
	児童・保護者アンケート	児童	/	保護者	/	⑤文書は、迅速に、また正確に処理されているか。
	・教職員は、定期的に研修会を開きよりよい授業を目指して学び合っている。					○インクルーシブ教育派遣事業と校内研究授業を合わせて実施したことで、指導主事の先生方から直接指導を受けたり、職員同士で話し合ったりすることで有意義な授業研究会になった。それぞれの立場で生かせることを吸収できた。
	児童・保護者アンケート	児童	/	保護者	/	②校内外の研修会に積極的に参加することにより、各個人の資質の向上に努めているか。
	・教職員は、定期的に研修会を開きよりよい授業を目指して学び合っている。	A 30 B 30 C 0 D 0	○校内研修だけでも、夏休みや放課後等を利用し、いろいろと実施することができた。(QU活用法、特別支援教育、インクルーシブ教育、ICT)			
	児童・保護者アンケート	児童	/	保護者	/	①学校評価、児童による評価、
	・学校評価を計画的に行	A 83	○アンケート等が、ICT機器で実施されてよい。			

学校評価	い、改善を図るとともに、その結果を公表している。	保護者による評価、学校運営協議会委員による評価の項目や内容、実施の仕方は適切であるか。				B 17 C 0 D 0	
		②学校評価を生かした学校運営が行われているか。				A 91 B 9 C 0 D 0	○前期評価・後期評価でみられた課題について検討する場を設定し、職員が自分事として捉えられるようしている。また、次年度へ向けての課題を共通理解することができた。
		児童・保護者アンケート				児童 保護者	
情報提供	・学校は、開かれた学校を目指し、進んで情報の公開をしている。	①学校に関する様々な情報が、保護者や地域住民に、適切に提供されているか。				A 91 B 9 C 0 D 0	○ホームページが次々更新され、児童の様子や学校の様子が分かりやすく公開されている。 ○一部の職員だけでなく、管理職、担任、無担と協力してホームページにアップされてされているので、高頻度で更新が進んでいる。
		児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	児：連絡帳やお便りを家の人見せたり、学校の話をしたりしていますか。 保：学校だよりや学年だより、各種たよりをよく読んでいますか。 保：学校は、日ごろの教育活動の様子などを、ホームページや学校・学級だより等で保護者に分かりやすく知らせていると思いますか。 (A64.3 B27.4 C6.5 D1.8) (A48.2 B37.7 C11.4 D2.6) (A60.5 B36.8 C12.6D0)
保護者・地域住民との連携	・学校は様々な教育活動において、保護者や地域住民の意見や協力を得て、社会に開かれた教育課程の実現に努めている。	①保護者や地域の関係機関、団体からの具体的な要望や意見を把握し、適切に対応しているか。				A 86 B 14 C 0 D 0	○ご意見等には傾聴したり、必要に応じて検討をしたりしている。
		②授業や学校行事等に地域の入材など、いわゆる外部入材を積極的に活用しているか。				A 96 B 4 C 0 D 0	○ミシンボランティアさんや読み聞かせの方など、多くの方に授業に参加していただき、より子どもたちが活動しやすいようになっている。 ○年間を通して多くのボランティアの方にお力添えいただき、大変ありがたかった。 ○サッカーの出前授業では、普段運動を苦手としている児童も楽しんでいる様子が見られた。 ○市貝町は、外部入材が豊富で総合的な学習の時間でもたくさん活用させていただいた。
教育環境整備	・設置者と連携して、児童が効果的な学校生活を送ることができるよう、環境整備に努めている。	①児童への教育の効果を上げるために、校内の教材・教具・図書の整備・美化に努めているか。				A 61 B 39 C 0 D 0	◇算数の教材や理科の実験道具など次に使う学年がスムーズに活動に移れるようにするといい。 ○こども未来課と連携し、樹齢が古い桜の木を伐採するなど安全な環境整備に努めた。
		児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	B	児：学校は、勉強や運動がしやすい環境になっていますか。 (A62.9 B30 C3.5 D3.5) 保：学校は、学習環境や生活環境が整っていると思いますか。 (A37.7 B57.9 C4.4 D0)

## 5 その他

(自己評価から)

- 集会時の整列など前年度と比べても飛躍的によくなっている。時間を守る、周りの状況を見て行動するなど基本的な生活習慣の基盤をつくることにより、学業指導、学びに向かう集団づくりに一層結びつくと思う。全職員同一歩調で進めることが大切である。この部分に関しては、職員の意識と取組に係る部分が大きいことを自覚したい。
- 職員の掲示板の活用が進み、各自が必要な連絡事項を入れたり、閲覧してほしい文書をあげたりできるようになった。職員の情報共有と働き方改革の一助となっている。
- ◇清掃が週2日になり、行き届かないところもあるがそこを児童にも気付かせ、自分たちの「学校をきれいにしたい」という気持ちを育てていきたい。
- ◇学びに向かう赤羽小をつくるため、人権意識の高揚を図りながら、帰属意識・規範意識・互いに高め合う、この3つを全職員で具体的に実践していきたい。